

Boat Impression MERIDIAN 391 Sedan



MERIDIAN 391 Sedan

全長 12.50m 全幅 4.20m 乾燥質量 11,340kg 燃料容量 1,325L
清水容量 473L 定員 12名 航行区域 沿岸区域 最高出力 407hp×2基
搭載エンジン カミンズ QSB 6.7L 425 DTS×2基

¥79,825,000 (税抜)

取材協力:アインスリゾート株式会社 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2
TEL 072-224-4040 URL <http://www.eins-a.jp/>
取材協力:芦屋マリーナ 兵庫県芦屋市海洋町11番1号
TEL 0797-35-6662 URL <http://ashiya.marinajapan.jp>



ボートの走行面の特徴としては立ち上がりの加速が実に軽やかで、特に重たさを感じる事は無かった。コーナーリングも確実に水面を捉えながら鋭く曲がるため、乗っていても非常に楽しいボートだ。フライングブリッジでは開放感溢れる視界が広がっており、操船していなくても快適なクルージングを楽しむ事が出来る。

軽やかで開放的な走り仲間との船上パーティーを楽しめるサロンクルーザー。これが今回ご紹介する『メリディアン 391 セダン』の大きな魅力だ。このボートはシーレイ、メリディアン、ハトラスの日本総輸入元であるアインスリゾートから販売されており、これまでに各エリアのユーザーから高い評価を得ている人気モデルである。まず実際にこのボートに乗ってみて編集部が感じたのは、これだけの高さ・幅をしっかりと確保したクルーザーなのに、加速が実にスムーズなところである。スロットルを倒していくと、ボートがスーッと身軽さを感じさせてくれるが、加速していく。取材当日の海況はややラフなコンディションではあったものの、波で大きくバランスを崩す事も無く、非常に乗り易かった。また、コーナーリングの際にも船内が大きく揺れる事は無く、操船

をしない場合でも、フライングブリッジのラウンジシートにゆったりと座りながら、ワンランク上の上質な時間が過ごせそう。フライングブリッジからの視界は抜群で、中も狭さを全く感じず、ゲストが寛ぐのに十分な広さを確保している。これなら仲間同士でパーティーを開いた際には、高い位置で景色を楽しみつつ、優雅に食事やお酒を楽しむ事も出来る。フライングブリッジの撮影を終えると、階段を降りてデッキの撮影を始める。フォワードデッキには角度の調整が可能なサンパッドや座り心地抜群のシートがあり、クルージング気分を高めてくれそう。ボートステイの際にはフォワードデッキやアフトデッキの両方で、のんびりとした休日が過ごせる事だろう。次にメインサロンの撮影を始める。ここには大きな窓が配置されており、外の景色も十分楽しめる。その



フライングブリッジには最新の装備が揃い、快適な操船が楽しめる。また、船上パーティーの際にもラウンジシートに座れば、優雅な時間を過ごす事も出来る。



フォワードデッキにはアンカーやサンパッドがあり、水上でもボートステイが楽しめそう。アフトデッキの階段は上に持ち上げる事で、メインスイッチやエンジンをチェックする際の入口となる。アフトデッキからも発電機等をチェックするため、下に入る事が出来る。アフトデッキは肌触りの良いシートやチークデッキを完備。



メインサロンは大きな窓もあり、横幅も非常に広いので、仲間とのパーティーが楽しめそう。また、ロアステーションもあるため、ここでの操船も可能。マスターステートルーム、ミッドパースには十分な広さと上質な質感のベッドを完備している。ギャレーやシャワー&トイレもあるので、マリーナステイも十分可能である。

ため、サロン内で閉塞感やストレスを感じる事もないだろう。ここなら定員の12人で談笑が出来てしまうのではないだろうかというくらいに広くて快適だ。昼間はフライングブリッジでパーティーをしながら、夜は落ち着いた雰囲気メインサロンで食事や会話を楽しむ。そんなお洒落な時間を過ごせるのもオーナーの特権だろう。他にもロングクルージングやマリーナで船中泊する際でも、マスターステートルームやミッド

パースには快適に眠れそうなベッドが配置されているので安心だ。更にはステンレスシンクや電気コンロのあるギャレーも完備されており、食事の準備にも問題はなさそう。美味しい料理を気の合う仲間と堪能し、食後の会話をより弾ませる。そして眠くなったらそれぞれの場所で眠りにつき、翌朝夜明けと共にクルージングに出掛ける。そんな贅沢な遊び方を実現してくれるのが、メリディアン391セダンなのである。